

※下記は国内の主要なレジストラの一般的な設定例を示したものであり、設定作業およびその結果に関しては弊社の管理外となります。ご不明な点は各レジストラのサポートまでお問い合わせください。

※下記の情報は本ページ作成時での情報です。各レジストラの仕様変更により今後設定方法等が変更になる場合があります。

※下記はご利用中のレジストラが用意するネームサーバを利用することが前提となります。大元のドメインで利用する正規のネームサーバをすでに他社ネームサーバに指定して運用中の場合は、そちらのネームサーバでNSレコードを設定する必要がありますのでご注意ください。

[会員メニュー](#) にログインし、トップから「ドメインの確認」をクリックします。





画面下部の「ドメインメニュー」をクリックします



選択されたドメインのDNSレコードが段階で表示される。この画面は、インターネット上のDNSレコードが指定されたドメインに反映されるまで

—	ドメイン名	状態	レジストラ	登録情報
1		利用中	JPRS	ゾーン編集 WHOIS



順次表示される。この画面は「ns1.dns.ne.jp」「ns2.dns.ne.jp」となっていればOKです

ネームサーバ1	NS1.DNS.NE.JP	変更
ネームサーバ2	NS2.DNS.NE.JP	
ネームサーバ3		
ネームサーバ4		

この画面は、DNSレコードが段階で表示される。この画面は、インターネット上のDNSレコードが指定されたドメインに反映されるまで



問題なければ、今度は先ほどのドメインの「ゾーン編集」をクリックします。

さくらインターネットでの設定例

作者： admin

2013年 2月 23日(土曜日) 15:06 - 最終更新 2020年 2月 12日(水曜日) 12:17

—	ドメイン名	状態	レジストラ	登録情報
1		利用中	JPRS	ゾーン編集 WHOIS



左側の「変更」をクリックします。



【3】各種利用権限の下りメニューから「ゾーン編集」を選択し、ドメイン名、ドメインの情報を登録する場合は、以下のように入力

エントリ名	タイプ	データ
情報が登録されていません。 以下のフォームから登録して下さい。		

エントリの追加と変更

エントリ名	<input type="text" value="mag"/> .example.org
種別	ネームサーバ (NS) ▼
値	<input type="text" value="ns1.y-ml.com."/> FQDN(ドメイン名の付いた形でのホスト名)にて入力の場合は最後にドットを付与して下さい。
DNSチェック	する ▼
TTLの指定	<input type="checkbox"/> 必要無い場合には、絶対にチェックしないで下さい
<input type="button" value="新規登録"/> <input type="button" value="変更"/>	

※ 新規登録時に、種別NSは必須で、種別NSは必ず1つ以上指定して下さい。



エントリ名	タイプ	データ	
mag	NS	ns1.y-ml.com.	<input type="button" value="削除"/>
mag	NS	ns2.y-ml.com.	<input type="button" value="削除"/>
mag	NS	slave1.igreks.co.jp.	<input type="button" value="削除"/>



右側の「データ送信」をクリックします。

設定作業を完了し、DNSの実際の指定は完了せずに、[反映の確認](#)に進む時間ほだかる場合